



2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月14日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東
 コード番号 6199 URL http://www.seraku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮崎 龍己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 小関 智春 (TEL) 03(3227)2321
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績 (2019年9月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	10,096	22.1	742	71.5	747	69.5	463	81.9
2019年8月期第3四半期	8,266	25.3	432	30.5	441	40.8	254	34.4

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 452百万円 (77.9%) 2019年8月期第3四半期 254百万円 (34.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	33.67	33.65
2019年8月期第3四半期	18.51	18.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	7,201	3,220	44.7
2019年8月期	5,370	2,811	52.3

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 3,218百万円 2019年8月期 2,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	3.20	3.20
2020年8月期	—	0.00	—		
2020年8月期 (予想)				3.40	3.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想 (2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	22.7	770	5.8	780	5.8	470	6.6	34.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期3Q	13,767,200株	2019年8月期	13,767,200株
② 期末自己株式数	2020年8月期3Q	39株	2019年8月期	39株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期3Q	13,767,161株	2019年8月期3Q	13,763,832株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善傾向が続く中、景気は緩やかな回復基調であったものの、長引く米中貿易摩擦、英国のEU離脱、新型コロナウイルスの世界的な広がり等、世界経済の減速リスクを孕んでおり、先行きが不透明な状況となっております。

当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、投資拡大が期待されるIoTサービス、ビッグデータやAIなど新たな技術の活用への投資が拡大し、またそれに伴い巧妙化するサイバー攻撃に対応するセキュリティサービスなど、活発に広がりをみせており、これら企業の需要に対応する質の高いITエンジニアの採用・育成の重要性が増しております。

このような環境の下、当社グループは積極的な人材の採用及び良質なエンジニアの育成によるサービスの価値向上に取り組むとともに、「みどりクラウド」による農業IT分野でのシェア拡大に注力してまいりました。また、ITエンジニアの人材流動化が加速している市況を踏まえ、新たに人材紹介事業を開始しております。

これらの結果、当社グループの売上高は10,096,933千円（前年同期比22.1%増）、営業利益は742,447千円（前年同期比71.5%増）、経常利益は747,820千円（前年同期比69.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は463,633千円（前年同期比81.9%増）となりました。

事業分野別のセグメント概況は、以下の通りであります。

① システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業においては、既存技術領域でのIT技術支援を推進し、長期安定的な分野であるITインフラ・クラウドテクノロジーや、デジタルクリエイティブ・WEB運営、WEBシステム開発などのサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスに伴う市況悪化の影響により企業の新規ICT投資に大幅な縮小が生じたものの、当事業の大部分を占めている運用案件においては顕著なマイナス影響を受けることなく推移することが出来ました。

新規案件の減少を補うべく、公共案件の獲得やテレワーク導入支援サービスの販売に注力するとともに、新卒人材の早期戦力化に取り組みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は8,015,842千円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益は666,335千円（前年同期比26.4%増）となりました。

② デジタルトランスフォーメーション事業

デジタルトランスフォーメーション事業においては、企業の情報資産を保護するサイバーセキュリティ、IoTやAI、データサイエンスを用いた課題解決、データの可視化やRPAによる業務の効率化、ITの活用で儲かる農業を実現する「みどりクラウド」といった、先端技術を用いたサービス提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、コロナウイルス感染拡大により、データサイエンス分野において案件数が減少する影響が見受けられたものの、その他の分野においては需要に大きな変化はなく、堅調に推移をいたしました。

農業向けサービスにおいては、「みどりクラウド」「ファームクラウド」を用いたソリューション提案に積極的に取り組んだ結果、農林水産省のスマート農業実証プロジェクトの採択など大型案件を受注いたしました。また、みどりマーケットの実現に向けて、株式会社R&Cホールディングスとの業務提携を行うなど、アライアンスの推進を図ってまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,764,163千円（前年同期比106.9%増）、セグメント利益は114,604千円（前年同期はセグメント損失28,973千円）となりました。

③ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社ピーズエンジニアリングでの3DCAD分野の技術提供、機械・金型などの受託設計サービス、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術を提供しております。

新型コロナウイルスに伴う市況の悪化により案件の減少はあったものの、継続して自動車をはじめとする製品開発・設計の基本技術である3DCADや、品質管理に特化した人材を育成し、サービスの提供に取り組んでまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は315,666千円（前年同期比104.1%増）、セグメント損失は32,791千円（前年同期はセグメント損失46,551千円）となりました。

④ その他事業

その他事業においては、連結子会社である株式会社セラクE C Aでの有料職業紹介・人材派遣・IT技術教育講座等のサービスを提供しております。

株式会社セラクE C Aでは流動性の高いIT人材市場において、高度IT技術者を多様な人材ニーズとマッチングさせることや、他業種も含めた幅広い分野の教育型人材サービスを提供すべく、求職者へのきめ細やかな対応と求人企業の新規開拓に取り組んでおります。新型コロナウイルス感染拡大により、求職者の動きが鈍化するものの、優秀な人材の発掘とトレーニングを目的として技術教育コンテンツをオンライン化し、技術者コミュニティに提供するなど、各種業界への人材流入を促してまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は27,920千円（前年同期比239.9%増）、セグメント損失は5,701千円（前年同期はセグメント損失18,601千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,830,569千円増加し7,201,296千円となりました。これは主に、現金及び預金が1,481,428千円、繰延税金資産が131,241千円、投資その他の資産「その他」が54,062千円、敷金及び保証金が52,460千円、建物（純額）が42,861千円、流動資産「その他」が30,760千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,421,866千円増加し3,980,903千円となりました。これは主に、長期借入金が810,005千円、未払金が708,726千円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ408,702千円増加し3,220,393千円となりました。これは主に、利益剰余金が419,579千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の業績予想につきましては、2019年10月15日の「2019年8月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,772,268	4,253,697
受取手形及び売掛金	1,597,154	1,622,883
仕掛品	18,034	40,521
原材料	28,634	39,607
その他	67,328	98,089
貸倒引当金	△2,689	△2,357
流動資産合計	4,480,730	6,052,441
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	72,425	115,286
工具、器具及び備品(純額)	13,947	20,956
その他	97	—
有形固定資産合計	86,470	136,242
無形固定資産		
のれん	34,217	27,374
ソフトウェア	26,267	23,273
その他	1,959	1,873
無形固定資産合計	62,445	52,521
投資その他の資産		
投資有価証券	222,440	203,684
繰延税金資産	279,521	410,763
敷金及び保証金	168,440	220,901
その他	70,678	124,740
投資その他の資産合計	741,080	960,089
固定資産合計	889,996	1,148,854
資産合計	5,370,727	7,201,296
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,748	51,815
1年内返済予定の長期借入金	136,215	128,215
未払金	806,252	1,514,979
未払法人税等	267,537	254,312
未払消費税等	263,997	371,968
賞与引当金	547,582	328,889
受注損失引当金	365	—
その他	161,993	167,238
流動負債合計	2,223,693	2,817,417
固定負債		
長期借入金	212,230	1,022,235
退職給付に係る負債	122,915	141,146
その他	196	103
固定負債合計	335,342	1,163,485
負債合計	2,559,036	3,980,903

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,974	297,974
資本剰余金	495,724	495,724
利益剰余金	2,018,270	2,437,849
自己株式	△32	△32
株主資本合計	2,811,937	3,231,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	972	△12,040
退職給付に係る調整累計額	△3,159	△789
その他の包括利益累計額合計	△2,186	△12,829
新株予約権	1,940	1,706
純資産合計	2,811,690	3,220,393
負債純資産合計	5,370,727	7,201,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
売上高	8,266,600	10,096,933
売上原価	6,414,994	7,696,226
売上総利益	1,851,606	2,400,706
販売費及び一般管理費	1,418,680	1,658,259
営業利益	432,925	742,447
営業外収益		
受取利息	1,526	1,624
助成金収入	6,000	4,000
受取補償金	356	149
その他	1,013	1,076
営業外収益合計	8,896	6,850
営業外費用		
支払利息	618	1,228
為替差損	0	—
雑損失	49	249
営業外費用合計	667	1,477
経常利益	441,153	747,820
特別利益		
新株予約権戻入益	56	233
特別利益合計	56	233
特別損失		
固定資産除却損	1,921	—
特別損失合計	1,921	—
税金等調整前四半期純利益	439,288	748,053
法人税、住民税及び事業税	314,139	410,964
法人税等調整額	△129,667	△126,544
法人税等合計	184,471	284,419
四半期純利益	254,816	463,633
親会社株主に帰属する四半期純利益	254,816	463,633

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	254,816	463,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	401	△13,012
退職給付に係る調整額	△649	2,369
その他の包括利益合計	△248	△10,643
四半期包括利益	254,568	452,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,568	452,990

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォー メーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,253,300	852,639	154,695	8,260,635	5,965	8,266,600	-	8,266,600
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	2,250	2,250	△2,250	-
計	7,253,300	852,639	154,695	8,260,635	8,215	8,268,850	△2,250	8,266,600
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	527,050	△28,973	△46,551	451,526	△18,601	432,925	-	432,925

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△2,250千円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォー メーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,015,842	1,764,163	307,250	10,087,255	9,677	10,096,933	-	10,096,933
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	8,415	8,415	18,242	26,658	△26,658	-
計	8,015,842	1,764,163	315,666	10,095,671	27,920	10,123,592	△26,658	10,096,933
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	666,335	114,604	△32,791	748,149	△5,701	742,447	-	742,447

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△26,658千円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。